

請願受理番号 2

再審法改正を求める意見書の提出に関する請願

(総務委員会)

(請願の趣旨)

再審法改正を求める意見書を国へ提出すること

(請願の理由)

死刑確定から 44 年、事件からは 58 年が経過するとの経過をたどった袴田事件の再審無罪を契機として刑事訴訟法の再審規定(以下「再審法」という。)の見直しを求める声が高まっています。自由民主党柴山正彦議員を代表とする国会議員 380 名を超える議員連盟も法改正に向けて精力的に活動がされています。

そして国レベルでの議論だけではなく、国民の日常生活の平穏を守り、刑事司法制度に寄せられる信頼を高める観点からも広く問題の認識が共有されてきて、既に多くの地方自治体の議会においても再審法の改正について意見書が採択されています。本年(令和 7 年)に入ってから 2 月には広島市議会、3 月には福岡市議会など隣県の県庁所在地の市議会においても同様の意見書の提出がされているところです。

つきましては、山口市議会においても問題の重要性について共有がされて、意見書の国に対する提出をお願い致します。

令和 7 年 6 月 3 日

提 出 者

山口県山口市黄金町 2 番 15 号

山口県弁護士会

会長 濱崎 大輔

紹介議員 坂井 芳浩

紹介議員 宮川 英之

紹介議員 野島 義正

紹介議員 其原 義信

紹介議員 伊藤 斉

紹介議員 部谷 翔大

紹介議員 大田 たける

紹介議員 竹中 一郎

山口市議会議長

入江 幸江 様